

## 組合員・仲間の皆様へ

21春闘を前進させる一層の団結を呼びかけます

コロナ禍を乗り越え、産別制度・政策要求を実現しよう！

コロナ禍の中で、物流を止めることなく、連日、物流の最前線で奮闘されている皆さんに、心より敬意と感謝を表します。全国港湾と港運同盟は、「コロナ禍で仕方がない」ではなく、これを乗り越え、現場の苦労に応える21春闘にしたいと決意しています。

全国の港湾労働者が力を合わせ、港湾産別制度と港湾関係諸政策の要求実現に全力でたたかいぬくために頑張ることを心より呼び掛けます。

日港協の「産別回答」回避の姿勢を絶対に許さない決意を固め合おう！

21春闘は、重要な局面を迎えています。私たちが21春闘要求に込めたものは、「雇用と賃上げ」という切実な願いだけではありません。港湾の自動化・機械化や非効率石炭火力発電施設の削減など港湾運送事業の根幹に係る問題に対し、日港協がこれをどう捉え、港湾産業の未来をどのように考えるかを問っています。

しかし、日港協の第一次回答は、「各社の事情が異なる」「体力や労務構成が違う」として、殆ど「各社対応」や「個別労使協議」とするというもので、自らの問題として応える姿勢はおろか、それを回避、もしくは否定すると断じても過言ではないものでした。

港湾産別労使は、船社・荷主や行政にきっちりモノを言い、理解を求めながら、産業の健全な発展のために必要な施策と対策を長い歴史の中で作り上げてきました。

この、産別労使関係は、労使が共に生きていくための不可欠な要件であり、「産別回答を回避する」姿勢は絶対に容認してはならないと考えます。

日港協は、港湾物流を支える港湾労働者の汗と苦労に誠意をもって応えよ！

職場は人員不足が常態化し、過密・過重労働が続いている。加えてコロナ禍で、命と健康への不安と背中合わせの作業を強いられています。この状況に対して、「賃上げゼロ」、「統一条件は困難」というように、現場の苦労を顧みない理不尽な回答を出してきているのです。団交では、「要求を真摯に受け止める」と前置きしますが、回答は真逆です。

個別に協議で環境を整えようとすれば、企業間競争とユーザーの圧力で、結果として労務コスト切り下げへと向かうことは、火を見るより明らかです。だから、産別労使が集団的な労使関係の中で働くルール、港湾労働秩序の規範をつくってきたのです。

仲間の皆さん、いまこそ労働組合の出番、頑張り時です。この状況を開拓するには産別結集と団結がどうしても必要です。本来、直接出向いて訴えたいところですが、コロナ禍の収束が見えない中で、それが叶いません。現状打開へ、21春闘の前進に向かって共に頑張りぬくことを強く呼びかけ、メッセージとします。

2021年3月19日

全国港湾労働組合連合会  
中央執行委員長 柏木公廣全日本港湾運輸労働組合同盟  
会長 日吉正博

## コロナ禍で現場を支える苦労と不安に応えよ！



一昨年末以来、政府は経済活動に不可欠な港湾運送事業の維持・継続を求める続け、港湾労働者は、その社会的使命を自覚しつつも、命と健康への不安に怯えながら黙々と現場を支え続けています。まさに、医療従事者と同様にエッセンシャルワーカーとしての役割を担っている21春闘に込めた産別回答への思いは切実であり、「コロナだから仕方がない」ではなく「コロナを乗り越える春闘」にしなければなりません。

しかし、「コロナで委縮」にしてはなりません。日港協の不誠実な対応を認めるわけにはいきません。この状況を開拓するには、21春闘要求を高く掲げ、全国港湾・港運同盟の旗の下に団結することが第一です。このため、全国港湾中央執行委員長と港運同盟会長は連名でメッセージ（別載）を発信し、組合員の産別結集、たたかう港湾労働者の団結を呼びかけています。これを職場集会や職場懇談会、地区での諸活動に活用して下さい。ホームページにもアップしています。

日港協は、第一回団交で「組合要求を真摯に受け止め：次回団交で回答する」と発言しました。しかし、そうとは思えない回答の連續でした（二面参照）。

日港協は、三月九日に第一次回答を提示しました。しかし、生活向上やコロナ禍での不安軽減の切実な願いや、ユーザー・行政の進める港湾「合理化」に産業として正面から応えるものは皆無でした（二面参照）。組合は、「三週間かけて検討したのがこれか」と強く抗議し、個別労使協議などではなく、産別協議体制の原点に立った再考と修正回答を求めました。

**全国港湾中央執行委員長・  
港運同盟会長 共同アピール**

港湾春闘は、決起集会やデモなどを集団行動で行政・ユーザー・日港

協へと要求実現を迫ってきました。しかし、組合員の命と健康のためにコロナ感染防止は不可欠で、様々な行動を抑制せざるを得ないのが現状です。

**職場・地域から日港協の姿勢を質す声をあげよう**

**全国港湾** **港運同盟**

（発行所）  
全国港湾労働組合連合会  
〒144-0052 東京都大田区蒲田5-10-2  
日港福会館1F  
電話：03-3733-2561  
FAX：03-3733-2627  
発行人：玉田雅也  
定価：30円（組合費に含む）

（毎月1回15日発行・平成7年8月18日）

2021春闘 号外